

刊夕日五拾月一拾

常警每日新聞

定価 一月五拾五圓 三月一五拾五圓 半年二五拾五圓 一年四拾五圓
廣告料 五圓 二行 一圓 一行 五拾圓
日曜 祭日の日 休刊
発行所 常警印刷部 東京 常警印刷部
電話 六三〇〇
印刷所 常警印刷部 東京 常警印刷部
電話 六三〇〇

赤十字の 起原と沿革 (七)

平町長 青沼 鋒太郎

それから平時事業といたしましては、最も顯著なものとして災害の救護があります。即ち地震、火災、洪水、暴風、海嘯、噴火、艦船及列車遭難等の災害に際し、時を移さず救護班を派遣して罹災傷病者其他の救護に當るのであります。これが爲めには平素から救護員並救護材料を準備して、何時でも出動が出来るやうになつてゐるのであります。明治二十一年磐梯山噴火の際長くも昭憲皇太后の仁慈な思召を奉體して救護員を派遣して以來、毎年數萬人を救護してゐるのであります。が、殊にその著しい例といつたしましては、大正十二年の關東大震災火災の二百餘萬

誰が持つ
たか分ら
ぬ古本類
の頁をめくる時指に唾液
をつけてするのは非衛生
日光に曝すは手輕な消毒
法

海嘯北滿松花江の火災、昭和九年の函館大火災、關西地方大風水害等に於ける救護でありましたが、これは國內のみではなく、對外的にも今日まで數多くの救護を實施して來たのであります。この外全く當時の事業としては、結核の豫防撲滅、貧困患者の救護、兒童及妊産婦の保護、衛生講習會、少年赤十字等でありまして結核の豫防撲滅は一九〇七

明日の献立

- 【朝】紅茶 トースト
- ジャム バイナ
- ツプル
- 【晝】照やき 切り
- いか
- 【晚】粕漬鱈 牛鍋
- 牛肉 白滝 ね
- ぎ 生玉子

秋の日は
銀浪 れい
愁ひを秘めて咲くはなは
うすくれないの秋のはな
幼き頃の想ひ出は
唄についで亡き人と
庭に遊びおまゝごと

想ひを秘めて咲くはなは
うすくれないの秋のはな
君と語りし想ひ出に
詩集にのこりしはなばら
の
匂ひあせたる語草

雲 落 十條 薫
秋のあはれに誘はれて
果敢なく去つたあの戀の
行衛を知るか山の雲
山の姿は過ぎし日の
やさしき君の面影か
今日も窓邊によりそひて
戀の行衛を尋ねれど
雲が知らずは秋の風
幻

田谷 眞砂
語る日の縁し短かく
何時となく別れ來りし
そのかみの君を慕ひつつ
そやかに一人生く身
あゝ愛し君がまぼろし



専門
産科 婦人科
花柳病科
◎入院隨意

井坂醫院
平町田町 電話五五九番

かまぼこ製造
お惣菜用 さつま揚 吉原揚

平町一丁目
電話一四一番

◎通學用金釧外套賣出し

中黒最上	一年……八圓五十錢
二年……九圓	三年……九圓五十錢
四年……九圓五十錢	五年……九圓五十錢

生等外 一年……四圓四十錢
二年……四圓七十錢
三年……五圓
四年……五圓
五年……五圓五十錢

△紺ヘル金釧服一年用三圓四十錢
△男子子供オーバ種々荷揃

店服洋堂札正 (正)
番六三四電

耳鼻咽喉科専門

大和田醫院
平町南町一六(電話七二〇番)

川井内科診所
川井 安子
平町(電話二四三番)

御中食(ランチ)に
サロン獨特の御飯物

ベニエライス(天井)
御一人前……35 SEN
御酒の御肴に

サロベニエ(天ぶら)
御一人前……30 SEN

サログリエ(鬼ガラ焼)
御一人前……30 SEN

トモおいしい天井です
トモおいしい御肴です
是非御試食御最負の程を御願ひいたします
出前は迅速にいたします

平町
イワキ サロン
—デンワ 352—

味覺の秋!!
仙の干やなぎ
賣初めました

其他鯉節、鯉鹽辛、いか鹽辛
★鯉の子入荷致しました★

平町土橋
鈴藏魚店
電話六六二番

木村外科醫院
花柳病科専門
自炊入院の便あり
電話三〇九番
平町六丁目橋際

明年度着工の

『平小鐵道』諸調査

本省からの來往繁く

早くも具体的に進捗

平小鐵道は既報の如く愈々地元民の待望裡に明年度から着工されることに決定、目下平町ではこの建設案に重大關係ある物資集産状況、主要産物等を集中中であるが鐵道省建設局計畫課堀内、關兩屬は昨十四日來平、平町に於ける諸物資集散の基礎調査を行ひ十五日小名濱町に向ひ

同様に調査を行ふ筈であるが更に續いて二十日には長屋東京建設事務所長、千葉技師兩氏がこの調査に基づいて沿線關係町村を實地踏査する等早くも具体的な進捗を示し、半ば諦められてゐた平小鐵道も今や全く浮び上つて實現の緒に着き地元民は非常な喜びに沸き立つてゐる

阿彌陀堂の參道

縣道編入調印取纏め

堂宇の修繕を機會に

内郷村大字白水に在る國寶阿彌陀堂は最近腐朽甚だしきたため工費七千圓を投じて近く屋根葺替えその他の修理を行ふことになつたが一方、同村縣道道から分岐する二キロの參道は悪路と険とで自動車通行に非常な困難を來すのを遺憾として昨年十二月東久邇宮殿下御成りを記念して縣道編入

待ちかねた 濡米が到着

川前村の九十八俵は川前驛に、入遠野村の百四十五俵が湯本驛にいつれも到着した

審査の結果『普通』と判る

磐女にては過般全校生七百八十五名の競技テストを行つたがその結果を全日本体操聯盟の審査に附した處合格者は一級二八名(三分弱)二級六〇名(七分強)三級一九名(一割五分強)で不合格のものは七割四分弱の五百七十六名であり競争は普通と判明した

少年就職

開催者懇談

來春集立つ小學兒童の職業斡旋に備へる平職業紹介所管内少年職業紹介事務所打合せ會は十五日午前九時から平町役場會議室で連絡十八小學校長並に平、湯本兩紹介所吏員三十餘名參集

高麗橋を中心として

眞木翁の懷古事談

官軍肉迫し來る！ 平城に火の手上る 戊辰の役、官軍の最も肉薄して來たのは、第一に此要所で、廣小路と、八幡

その他 尙引續き明日午後一時から求人者懇談會を開き左記諸件に就き懇談を交し將來の参考に資する筈

- 一、職業紹介所の取扱に對する御意見承り度し
- 二、小店員、見習工等從來の採用方法承り度し
- 三、從來の雇傭條件を改正する御意圖ありや否や
- 四、各職業に對し求人者として要求すべき事項承り度し
- 五、各位の經營せらるる營業の推移承り度し
- 六、その他二件

愛江谷護岸

今月末着工

「昨報」愛江谷筋の護岸工事は工費二百圓で今月末着工、好間村大字愛谷地内右岸二十米、平町堤の内二百八十八米を施行、年度内に完成の豫定

川前信用組織

川前信用組合は此程主務大臣より設立許可の指令に接したので明十六日午前十時より同村桶實小學校で第一回資金の拂込法に就いて協議會を開く

四倉野球試合

四倉町雞鳴會主催第三回町内野球大會決勝OR對セメントの試合は來る十八日午前八時からセメント球場で開催される

矢野校長歸平

就職運動の爲め去る十七日上海に於て平南校長矢野泰次郎氏は明十六日午後七時五

赤十字旗掲揚

平町各中等學校及び各小學校は昨夜色昏 堪思當年爭戰 苦 城頭老樹盡彈痕 六間門の、守備手堅しと見 てか、日暮頃には、前面の 敵は、何れへか引去つたの で、其足溜となつた、杉浦 鍋田の屋敷や、藩營は、夜 に入つて焼拂はれた、然し 然し、米澤兵は疾く倉に 退き、仙臺兵には闘志もな

十二分着で歸平する由 勿來農會坪刈審査會は十五日午後一時から同町役場内農會事務所で開いた

勿來町農會主催農産物品評會は來月七、八、九三日同町商市場で開き九日には中央から講師を招聘して秋季講演會を開く筈

勿來産業組合では五百二十五圓を以て動力粗摺機を購入、實行組合三十ヶ所を巡回して自家精米のスピード・アップを試みることになつた

勿來農會では來月中旬約九百匹の家兎共同販賣を行ふが相場は一匹最高九十錢内外と見られてゐる

勿來町では穀物の改良と聲價の向上を目的として此程「勿來穀物共同受檢組合」を創立することになり創立委員長小松清三氏外委員數名が目下準備を進めてゐる

△北目町一四五 永井七郎 氏二男實さん

△新川町七 山下庄三郎氏 二男榮次さん

△北目町一四五 永井七郎 氏二男實さん

△新川町七 山下庄三郎氏 二男榮次さん

△北目町一四五 永井七郎 氏二男實さん

△新川町七 山下庄三郎氏 二男榮次さん

△北目町一四五 永井七郎 氏二男實さん

△新川町七 山下庄三郎氏 二男榮次さん

△北目町一四五 永井七郎 氏二男實さん

△新川町七 山下庄三郎氏 二男榮次さん

△北目町一四五 永井七郎 氏二男實さん

△新川町七 山下庄三郎氏 二男榮次さん

本日より三日間の赤十字旗に際しそれ／＼赤十字旗を掲揚し校長の訓話があつた

平局控所 平郵便局のサービスとして來る廿日より公衆控所にストロップを設備する

マネシ 拾五日 世界館 市太プロ作品 市川右太衛門主演 「仇討土人形」

松竹蒲田全發聲 五所平之助監督 飯田蝶子 齋藤達雄主演 「女と生まれたからにや」

二監督 月形龍之助 溝口健太か子 小杉勇主演 「神風連」

平 館 日活現代劇 内田吐夢監督 山田五十鈴 島耕二主演 「愛は何處までも」

日活時代劇 辻吉郎監督 大谷日出夫 山田五十鈴主演 「曠野の果」

平町人事 回出生

△北目町一四五 永井七郎 氏二男實さん

△新川町七 山下庄三郎氏 二男榮次さん

△北目町一四五 永井七郎 氏二男實さん

△新川町七 山下庄三郎氏 二男榮次さん

△北目町一四五 永井七郎 氏二男實さん

△新川町七 山下庄三郎氏 二男榮次さん

△北目町一四五 永井七郎 氏二男實さん

△新川町七 山下庄三郎氏 二男榮次さん

△北目町一四五 永井七郎 氏二男實さん

時間の改正から 運轉に大異動

卅日の列車に乗る

長距離の旅行者は注意

既報一來月一日から鐵道各線の列車時刻が變更される關係から來る卅日に平野を通過する常磐線主要列車は運轉系統に非常な變化を來す、即ち現在の常磐線上野行急行は卅日に仙臺から東北本線に準急として走るを初めとして當日の常磐線上下六列車は夫々運轉系統の異狀を來すから長距離旅行者は途中左記列車に注意せられ度いと

上りの部

△青森發常磐線廻り上野行急行二〇二列車は卅日仙臺着迄は急行とし仙臺から改正、準急列車として東北本線に廻る
△青森發上野行急行は卅日運轉せず、其の代り改正急行二〇二列車常磐線廻りを卅日青森發から運轉する
△青森發上野行急行二〇二列車は卅日仙臺から一〇六列車となつて東北本線を經由する
△青森發上野行二〇六列車は同日水戸から改正、二〇四列車(平發午前零時五十五分)に變る

下りの部

△上野發青森行急行二〇一列車(平發前二五〇)は卅日上野から運轉せず、その代り改正急行二〇一列車(平〇后一、五八)は卅日發後一〇、二八)が出る
△上野發青森行二〇三列車(平〇后一、五八)は卅日盛岡迄で止まる

健氣な志望

家事と實業従事

昨年よりも増加

平町各校を來春集立つ

來春卒業する平町内各小學校の児童数は第一校が尋常科二百七名、高等科百四名、第二校が尋常科百九十三名、高等科百三十名、第三校が男子五十八名、女子六十五名、等總計七百五十七名であるが児童の志望別は左の如く昨年に比し家事及び實業従事が増加してゐる

▲第一校(尋常科)警中八五、平商三八、高等科入學七〇、實業従事一四
(高等科)警中三、平商一其他中學一、其他學校九
實業従事九〇 ▲第二校(尋常科)警女七九、高等



明日の天気
拾六日
今夜も明日も北西の風天氣良し

今夜も明日も北西の風天氣良し
後九、三〇 時報
氣象通報 番組豫告
明日の部
前七、〇一 基礎佛語講座
前七、三〇 聖典講義「碧嚴録」(五日)種護山
前八、〇〇 家庭科學講座「燃料」(一)工學博士大島義清
後八、〇五 和洋合奏 富士管絃樂團
後九、〇〇 婦人の時間
「寒い時お産なさる方への注意」醫學博士佐伯誠

後二、二〇 ラデオ一試合
實況七大學リーグ戦神宮より中継
後六、〇〇 子供の時間
平井英子外
後六、二五 基礎英語講座
(二七)岡倉由三郎 徳富猪一郎
後八、〇〇 講演「荻生徂徠」西尾麟慶
後八、三〇 ビアノ獨奏 福井直後
後九、〇〇 端唄四季北陽 富貴代外
後九、五五 日本棋院秋季東西大手合戦續

今晚の部
後六、〇〇 子供の時間
お話「児童唱歌コンクール結果発表」日本教育音楽協會 長乗杉嘉壽
後六、二五 英語講座(五の二) フランク・ポトル
(男子)警中八、平商五、高等科入學三〇、實業従事一五(女子)警女七、高等科入學四〇、家事従事一八

後七、三〇 講演「現下の米穀問題に就て」農林相米穀局長 荷見安
後八、〇〇 講演「農村不況打開の實際對策」宗像利吉
後八、三〇 農村不況打開有畜農業座談會 釘本昌二外

後九、三〇 時報
氣象通報 番組豫告
明日の部
前七、〇一 基礎佛語講座
前七、三〇 聖典講義「碧嚴録」(五日)種護山
前八、〇〇 家庭科學講座「燃料」(一)工學博士大島義清
後八、〇五 和洋合奏 富士管絃樂團
後九、〇〇 婦人の時間
「寒い時お産なさる方への注意」醫學博士佐伯誠

後二、二〇 ラデオ一試合
實況七大學リーグ戦神宮より中継
後六、〇〇 子供の時間
平井英子外
後六、二五 基礎英語講座
(二七)岡倉由三郎 徳富猪一郎
後八、〇〇 講演「荻生徂徠」西尾麟慶
後八、三〇 ビアノ獨奏 福井直後
後九、〇〇 端唄四季北陽 富貴代外
後九、五五 日本棋院秋季東西大手合戦續

高木大佐榮轉
本郡大野村出身軍艦「長良」艦長海軍大佐高木武雄氏は今回發表された海軍異動で海軍省教育局第一課長に榮轉した、氏は大野村玉山鎮泉藤屋旅館主の長男で警中第九回の卒業、海軍大學等を優秀な成績で卒業し郡出身者中最初の現役將官として大いに前途を囑望されて居る

漫談
德川夢聲氏來る
平青年團の資金造成
來る廿四日に開催

漫談
德川夢聲氏來る
平青年團の資金造成
來る廿四日に開催

漫談
德川夢聲氏來る
平青年團の資金造成
來る廿四日に開催

再び地這りの
襲來する惶れ
入遠野村總出で
復舊工事に努力

再び地這りの
襲來する惶れ
入遠野村總出で
復舊工事に努力

再び地這りの
襲來する惶れ
入遠野村總出で
復舊工事に努力

再び地這りの
襲來する惶れ
入遠野村總出で
復舊工事に努力

ガングンで焼死
夕方自宅前で生不動

ガングンで焼死
夕方自宅前で生不動

ガングンで焼死
夕方自宅前で生不動

ガングンで焼死
夕方自宅前で生不動

警女寄宿生が
冬籠りの凶作民へ

警女寄宿生が
冬籠りの凶作民へ

警女寄宿生が
冬籠りの凶作民へ

警女寄宿生が
冬籠りの凶作民へ

平職界紹介所報告
回人を求める方

平職界紹介所報告
回人を求める方

平職界紹介所報告
回人を求める方

平職界紹介所報告
回人を求める方

三坂消防検閲
澤渡聯合消防検閲は二十一
日中三坂小學校で行ふ

三坂消防検閲
澤渡聯合消防検閲は二十一
日中三坂小學校で行ふ

三坂消防検閲
澤渡聯合消防検閲は二十一
日中三坂小學校で行ふ

三坂消防検閲
澤渡聯合消防検閲は二十一
日中三坂小學校で行ふ

兒童健康相談
平第三小學校の兒童健康相談日
は校醫の都合で來月から十
六、十七の兩日に變更され
た

兒童健康相談
平第三小學校の兒童健康相談日
は校醫の都合で來月から十
六、十七の兩日に變更され
た

兒童健康相談
平第三小學校の兒童健康相談日
は校醫の都合で來月から十
六、十七の兩日に變更され
た

兒童健康相談
平第三小學校の兒童健康相談日
は校醫の都合で來月から十
六、十七の兩日に變更され
た

浮名新音頭

田邊南龍(作)

山本芙蓉(筆)

一八四：

與吉の自白(二)

三人は挨拶をして戻らうと思ふと與四郎親分が

「さて御三方」

「ハイ」

「何んにもございませぬが一口召上つて入らしつちやア下さいませぬか……」

「夫ア辱なふごす、御言葉に従つて御馳走になりませう」

其處で酒肴を出して三人の周旋を與四郎親分がして「さて四郎兵衛親方長五郎親方の前で喜三郎親方に一ツお頼みがあるが叶へて頂きたい」

「ハ、ア改まつたお言葉其お頼みといふのは……」

「されば外のこつちやアございませぬが私の家に此夏中から来て、何うか家へ置いて呉れると云ひますから宜しい承知したと置いてやつた一人の若者、今中盆をして居りました男、貴郎が這入つてお出でなすつた故面目ねえから腹が痛いと思

座いたしました、此五月のこと友達に頼まれて少しの金子を握らせられ、割下水でお手向ひをした由當人が詫びて呉れると申します何うか喜三郎親分、負けてやつて下さるやうお申し申

「有難うございます」

「何うしたんだ喜三」

「ホラいつか兄弟には一寸話をしたらう、北割下水で四人の奴等が俺の前後から切付けて来た一件サ、其一



すでげせう、夫ぢやア何うか喜三郎親分お前さんから憎い奴だとは思召しませうが、お盃を一つやつて下さるやうに願ひます」

「ア、宜うございますとも決して心配をなさらねえやうに盃は上げませうから……」

「有難うございます」

「何うしたんだ喜三」

「ホラいつか兄弟には一寸話をしたらう、北割下水で四人の奴等が俺の前後から切付けて来た一件サ、其一

とはしねえが俺達ア面倒臭いから叩つ切つて了う、マア、喜三郎で仕合せだつた」

「御免下さいまし」

と與四郎に命令けられて這入つて来た男。

「此男でございませぬ、何うぞ喜三兄、お盃をおやんなすつて」

「イヤ徳兄といふけえ、其節ア威勢の好いことがあつたつけなア、マア、好かつた、お前も怪俄をしなかつて好い案梅だ與四郎親分が斯うやつて話をしな

「有難う存じます、何うぞ親分願ひます」

と彼の徳といふ者は與四郎の計らひに依つて喜三郎の盃を貰ひ、悦んで禮を述べて引退る、三人も好い心持になつて與四郎の家を出たのはモウ彼是れ四ツ少々過ぎてございませぬ。

一冊の代金で

御希望通りな

五冊の雑誌が

自由に讀める

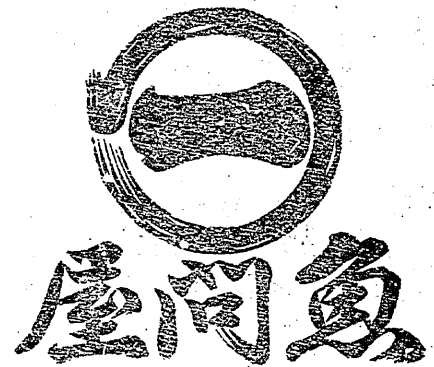
川崎巡回文庫

電六三〇番

(申込次第規則書進呈)

市土手

魚問屋



店理代平命生本日大最優最
榮盛賀志
(三一二電)目丁四平

美味！
芳醇

宗正らひた

山崎合名會社
電話一〇番

看護婦急派
の求めに應
じます

平町南町
平看護婦會
電話三〇七番

高久病院

院長 醫學士 高久 忠
副院長 新潟醫學士 赤羽 清
藥局長 藥劑師 佐竹 菊雄

内科小兒科 外科花柳病科
耳鼻咽喉科 レントゲン科

磐城セメント會社特約店

久全屋商店

磐城平町五丁目 電話九番九九番
□良品廉賣に勝る商略なし
□確實敏捷は久の生命なり

御扱ひ開始

問の抜け
た質屋 旭屋一六銀行

通三丁目
電四二五